



まちの出来事

交流人口拡大プロジェクト 3大学が箱根駅伝出場を目指し紋別合宿

市の重点施策の一つでもある交流人口拡大プロジェクトのうち、「合宿誘致」の成果が見え始めています。



國學院大學陸上競技部

今年、箱根駅伝出場を目指す、國學院大學陸上競技部19人と神奈川大学陸上競技部28人が8月24日から紋別を合宿地を選び、日々トレーニングに励んだほか、北海道大学バスケットボール部33人など新たな競技の紋別合宿も行わ



神奈川大学陸上競技部

れ、「紋別の食や環境などトレーニング地として最適」と好印象を持った様子。このうち、國學院大學は8月30日に全日程を終えて離紋しました。神奈川大学は9月2日、次の合宿地である遠軽町に向かいま

した。また、9月3日には、第1回の箱根駅伝から出場し、優勝回数7回を誇る、明治大学

市内の公共施設に配備 佐藤電気(株)AED2台を寄贈

昭和53年4月の創業から今年で30周年を迎えた佐藤電気株式会社(佐藤正春社長)が節目の記念に、9月4日市にAED(自動体外式除細動器)2台を寄贈しました。寄贈されたAEDは、保健センターとスポーツセンターに配備されます。



明治大学体育会競走部

体育会競走部28人が紋別合宿を開始しました。

明治大学は昨年からの紋別合宿を行っていて、今年の本戦出場を逃しているものの、古豪復活を期待しています。

市内には現在のところAEDは4台配備されているが、今年度中に5台を購入し、同社の寄贈とあわせ11台になる予定。
市では、これからも順次学校や福祉施設などに配備していく計画です。

「みつめよう、福祉のこころ」 ふれあい広場2008もんべつ

「ふれあい広場2008もんべつ」が9月7日、幸町のメモリアル通りを中心に開催されました。

健常者と障害者が一緒に楽しい時間を過ごそうと開催されている催しで、福祉関係など様々な団体の出店や緑日並び、歌やダンスなどのステージ発表も披露されるなど多くの市民で賑わいました。

イベントでは、紋別高等養護学校の菅野裕介君と山澤史華さんが「成功に向かってみんなで協力して頑張るぞ!」と宣言して開会。紋別高等養護学校の学生や仲良し共同作



業所の利用者が、歌やダンスによるステージを繰り広げたほか、この日のために結成された「ふれあいカルテット」によるジャズアンサンブル、一輪車キッズ、よさこいのソーランハートによる演舞も披露されました。

